隼人町宮内の田の神

【所　在　地】霧島市隼人町内山田 1805
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】昭和 43 年３月 29 日

灰白質の粗い石質で作られ，顔は翁面に似て横幅広く，アゴひげがある。高さ 91cm で風にあおられているような大きなシキをかぶり，右手にメシゲ，左手には椀をかかえるように持っている。農作業姿神舞型の典型的なものである。

天明元（1781）年造立。

旧暦５月５日（今は，これに近い日曜日）の鹿児島神宮のお田植祭には，この前に祭壇が作られ，田の神舞が奉納され早乙女が田植をする。

この田の神像は，鹿児島神宮下の御神田の場所に鎮座している。